

大学名 東北大学病院

第64号 特集テーマ「地域の中核となる大学」

表題 東日本大震災の経験に基づいた地域のCOVID-19感染制御活動への貢献

東北大学病院は、感染症指定医療機関として重症・中等症患者を受け入れるとともに、東日本大震災の経験に基づき、宮城県内の感染制御活動に貢献した。

2020年4月21日、全国的にPCR検査の実施が求められる中、全国に先駆けて「ドライブスルー方式の新型コロナウイルスPCR検査外来」を開始するとともに高齢者施設等のクラスター発生に対して「出張PCR検査」を実施。2022年10月31日までに東北大学病院の医師、歯科医師、看護師等、延べ3,800名が出務、13,235名に検査を行った。

これと並行し、4月16日には「新型コロナウイルス軽症者等宿泊療養施設（ホテル）」の医療支援を開始。ホテル内往診による処方、採血、ポータブルレントゲン検査、酸素飽和度24時間モニタリングシステム、抗体カクテル療法等により医療体制を強化。医療逼迫の危機にあった第5波では、ケアレベルを軽症者用のホテル、往診機能を備えた医療機能付きホテル、入院の3段階に分けた独自の医療体制をとり、ホテル内死亡0に貢献。これらは2020年12月に設置された富永悌二病院長を本部長とした宮城県新型コロナウイルス感染症医療調整本部が主導。

2021年5月には、JR仙台駅前のビルに大学主体としては初となる「東北大学ワクチン接種センター」を設置、市民や東北大学教職員・学生に加え、市内13大学の学生に接種を実施。一旦終了となる11月12日までに、同センターには本院の医師のべ3284名（37診療科）、歯科医のべ456名、薬剤師のべ338名の併せて4078名が従事、516,513件の接種を実施。12月20日からは同センターを再開し、3回目のワクチン接種を継続して対応中。スムーズな接種を可能としたのは同院メディカルITセンターが独自開発した「ワクチン接種web予約システム」によるもの。2021年11月にTOHOKU DX大賞最優秀賞を受賞。



ドライブスルー検査を行う大学の医師



ワクチン接種センターで調剤する大学病院薬剤師

	対応内容	設置日	管理体制	第5波までの活動概要
予防	① 東北大学ワクチン接種センター	2021/5/24	センター長：張替秀部（副院長）	接種実績：516513件 (1、2回接種対応：2021/11/12で休止)
検査	② ドライブスルー型PCR検査外来	2020/4/21	東北大学診療所長：石井正（病院長補佐）	検査数：13235件 (2021/10/29で休止)
診療調整	③ 宮城県新型コロナウイルス対策主要病院長会議	2020/3/31	議長：富永悌二（病院長）	19回開催：入院病床の確保 他コロナ対応に必要な医療課題の解決
	④ 宮城県医療調整本部	2020/12/10	本部長：富永悌二（病院長）	毎日新規陽性者のマッチング： 入院1909件、ホテル12775件 (2021/12/31まで)
	⑤ 宿泊療養施設（ホテル）支援	2020/4/16	調整担当：石井正（病院長補佐）	6施設のオンコール対応(最大669名/日入所) うち1施設では往診医療(投薬、補液、検査)
診療	⑥ 高齢者施設支援体制	2021/5/1	医療調整本部付き	クラスター-25施設への感染制御指導、 業務継続支援
	⑦ 抗体カクテル療法センター	2021/9/6	センター長：石岡千加史（副院長）	82名に投与（2021/10/11で休止）

ワクチン接種
≒52万回

ホテル往診回数
1769回

入院ホテル調整
≒1万5千人

高齢者施設支援
25施設

第5波までの対応概要。第6波以降も同方針で対応を継続している。